

## 展示概要

本展示は、2016年に連載開始するや読者から圧倒的な支持を受け、2018年には数々の賞を受賞したマンガ作品「BEASTARS」の魅力、原画を通して紹介します。独特な世界設定のもと繰り広げられる「動物版ヒューマンドラマ」として注目を集める本作の、初となる個展。本展示は会期を4期に分け、作品世界の複雑なドラマ性を会期ごとの4つの軸から読み解きます。近年では珍しく完全なアナログで描く作者の、生き活きとした描線をお楽しみください。

## 会期日程

### 第1期 [肉食と草食]

2月22日(金)～3月18日(月)

### 第2期 [思春期と大人]

3月21日(木祝)～4月15日(月)

### 第3期 [女性と男性]

4月19日(金)～5月13日(月)

### 第4期 [レゴシとルイ]

5月17日(金)～6月9日(日)

●ギャラリートーク: BEASTARS展の歩き方  
各会期に1回開催

## 展示品

- 本展描き下ろしを含む原画約150点
- 作画風景の映像展示
- 2階閲覧室に関連書籍コーナーを開設

## BEASTARS

2016年より『週刊少年チャンピオン』にて連載中のマンガ作品。動物のみが存在する世界で、主人公レゴシの青春と葛藤を描いた「動物版ヒューマンドラマ」である。発表から間もなく支持を集め、2017年に「このマンガがすごい! 2018」(宝島社)オトコ編 第2位を獲得。2018年に第21回文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞、第11回マンガ大賞大賞、第22回手塚治虫文化賞新生賞、第42回講談社漫画賞少年部門を受賞。

## 板垣巴留 (1993～)

いたがき・ばる/マンガ家。東京都出身。武蔵野美術大学映像学科卒。在学中より同人誌「BEAST COMPLEX」を執筆。2016年「週刊少年チャンピオン」にて「BEAST COMPLEX」でデビュー。同年より同誌にて、デビュー作を原型とした作品「BEASTARS」を連載開始。2018年、同作にて多くのマンガ賞を受賞した、今最も注目の作家の一人である。

## 関連イベント

### トークイベント①

## 板垣巴留 「動物に託した思い」

[出演] 板垣巴留 (マンガ家)  
[聞き手] 栗生こずえ (フリー編集者、ライター、作家)  
[日時] 2019年3月9日(土)  
16:00～17:30  
[場所] 明治大学 アカデミーコモン9階309B教室  
[料金] 無料  
[内容] 「BEASTARS」作者の板垣巴留先生をお招きし、制作秘話や作品を描くにあたっての心構え、作品の成り立ちをお聞きます。



### トークイベント②

## 人と獣の間 —擬人化動物マンガの中の「BEASTARS」

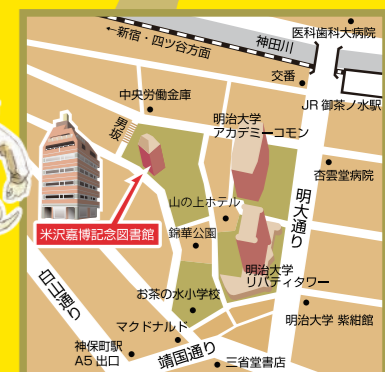
[出演] 宮本大人 (明治大学国際日本学部准教授)  
[日時] 2019年5月18日(土)  
16:00～17:30  
[場所] 米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室  
[料金] 無料 ※会員登録料金(1日会員300円～)が別途必要です。  
[内容] 「正チャンの冒険」や「のらくろ」がそうであるように、擬人化された動物が登場するマンガの歴史は、マンガそのものの歴史と同じくらい長い。獣を人にたとえ、人を獣にたとえる中で、何が語られてきたのか。その流れの中で「BEASTARS」の特徴を考えます。



※両トークイベントとも開催当日に整理券を配布いたします。



本展示描き下ろしイラスト執筆の様子(映像展示より)



明治大学 米沢嘉博記念図書館  
〒101-8301 東京都千代田区神田猿樂町1-7-1 TEL03-3296-4554  
[http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/)